

新規事業評価調書

【道路事業】

土木局道路建設課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 安倍 茂 (副課長兼国道係長 丸岡 剛)	内線	4362 (4374)
------	-------------------	---------------------	--------------------------------	----	----------------

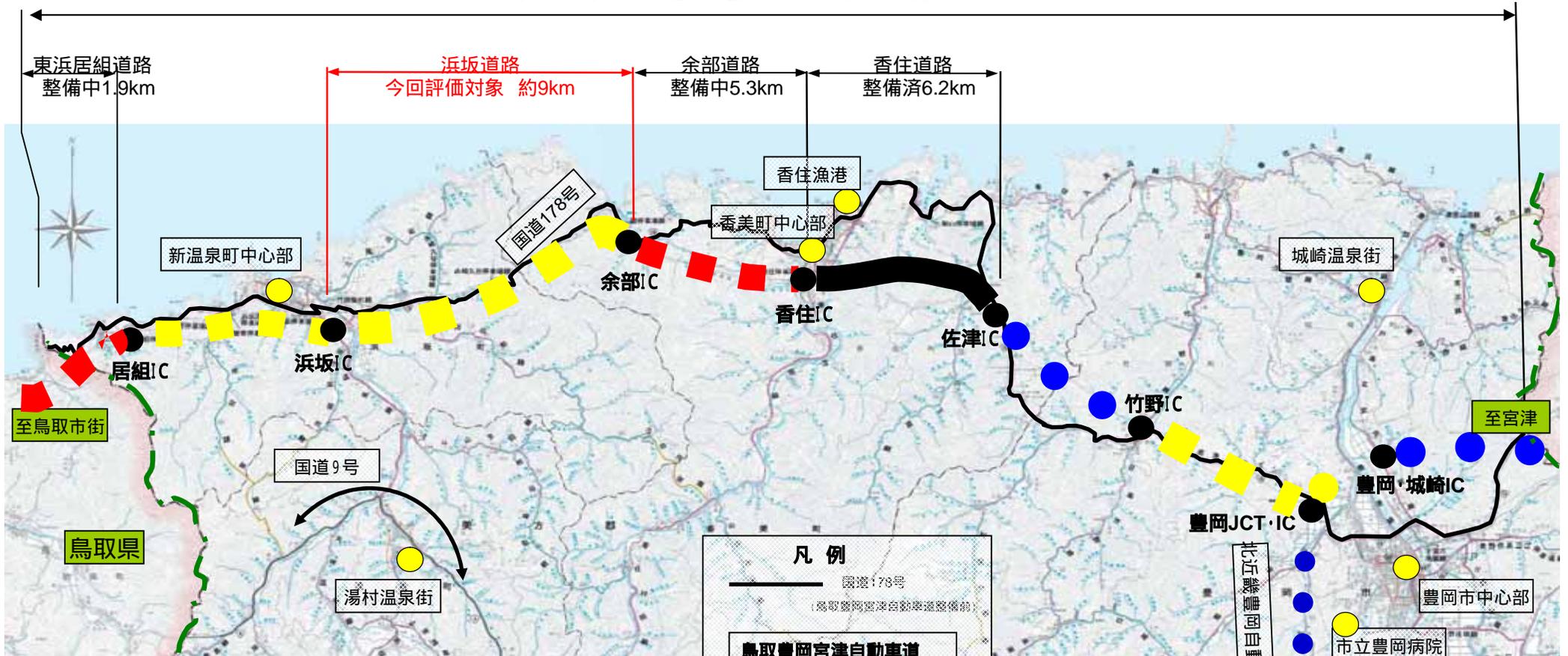
事業種目	道 路	事業名	事業区 間	総事業費	245億円
		道路改築事業 国道178号(仮称)浜坂道路	美方郡香美町余部 ^{あまるべ} ~美方郡新温泉町戸田 ^{へだ}	内用地補償費	5億円
所 在 地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
美方郡香美町余部 ^{あまるべ} ~美方郡新温泉町戸田 ^{へだ}			平成20年度	平成20年度	平成27年度

事業目的		事業内容等		
<ul style="list-style-type: none"> ・高速道六基幹軸の日本海沿岸軸を構成し、さらには、環日本海交流を支える鳥取豊岡宮津自動車道の一部区間として広域高速道路ネットワークを形成する。 ・人口減少時代のなかで、高速交通の空白地帯である日本海沿岸地域において、隣接生活圏への移動時間を短縮することにより、交流の促進、産業の活性化、観光の振興等、地域の自立的、主体的な活動を支援する。 ・幅員狭小トンネル、ヘアピンカーブ、急勾配区間等を有する現道の悪条件を解消するとともに、高次救急医療施設へのアクセス性向上により地域の安心・安全の向上を図る。 		道道路改築（バイパス） L=約9km 【道 路 規 格】第1種第3級 【計 画 幅 員】7.0(12.5)m（代表断面） 【計画交通量】7,300台/日 【現 況 幅 員】W=6.0(7.5)m（2車線） 【現況交通量】4,400~8,800台（H17セグス） 【負 担 割 合】国:5.5/10,県:4.5/10		

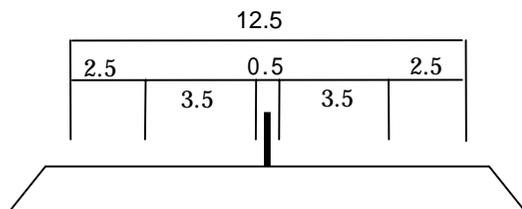
評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全・安心を 確保する道づ くり	<ul style="list-style-type: none"> ・本道路の現道では、大型車離合困難（桃観トンネル）、半径15mの線形不良区間、約9%の急勾配等、常時、積雪時における課題を有しており、本道路の整備により、円滑かつ安全な車両通行の確保を図る。なお、本道路は自動車専用道路であり、高速走行に応じた規格の平面・縦断曲線、幅員構成とするとともに、車道中央部に50cmの中央帯を設けラバーコーンを設置する等、交通安全に最大限配慮する。 ・国道178号は、第一次緊急輸送道路の指定を受けているが、本道路の現道では、土砂崩壊、冠水等により交通が遮断されており、本道路の整備により、災害に強い道路ネットワークの形成を図る。 ・新温泉町、香美町では高齢化率が約30%を超えるにもかかわらず3次救急医療施設がないため、本道路の整備により当該医療施設のある鳥取市、豊岡市への円滑な移動経路の確保を図る。
くらしと交流を 支える道づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・松葉ガニや但馬牛などの地域特産品やブランド製品の神戸・大阪市場、鳥取市場への販売力、輸送力強化を図り、地域経済活動を支援する。 ・阪神間等の大都市圏からのアクセス性向上につながり、温泉、海水浴、スキーなどを活かした地域の観光振興を支援する。
県土の活用を進 める道づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道六基幹軸の日本海沿岸軸を構成する鳥取豊岡宮津自動車道の一部区間として、当該区間を香住道路、余部道路、居組道路に引き続き着手することにより、着実に県土の骨格を形成する。
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比 1.9 ・住民の参画と協働を得て、ルート等について検討をすすめている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取豊岡宮津自動車道は、動物が道路を安全に横断するための地下通路を整備する等、生態系等に配慮した整備を進めている。 ・浜坂道路整備にあたっては、環境現況調査等を実施し、環境に配慮した整備を行う。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路網は、連続してその効果が最大限発揮されるものであり、地域間の格差是正や交流促進に向け、香住道路、余部道路、東浜居組道路に引き続き本道路の事業着手は優先性が高い。 ・鳥取豊岡宮津自動車道は、現道条件の悪い区間より事業着手しているところであり、当該区間は幅員狭小トンネル、ヘアピンカーブ、急勾配区間等を有していることから、未着手区間の中で最も優先性が高い。

浜坂道路位置図

鳥取豊岡宮津自動車道 兵庫県内 L = 約46km



計画幅員(代表断面)



凡例

- 国道178号 (鳥取豊岡宮津自動車道整備前)
- 鳥取豊岡宮津自動車道**
 - 供用済区間 (Solid black line)
 - 事業中区間 (Red dashed line)
 - 調査区間 (Yellow dashed line)
 - 未指定区間 (Blue dashed line)
 - IC (未供用区間は仮称) (Black circle)

北近畿豊岡自動車道
姫路・阪神方面へ

高速道六基幹軸

高速道六基幹軸の構成路線



高速道六基幹軸とは

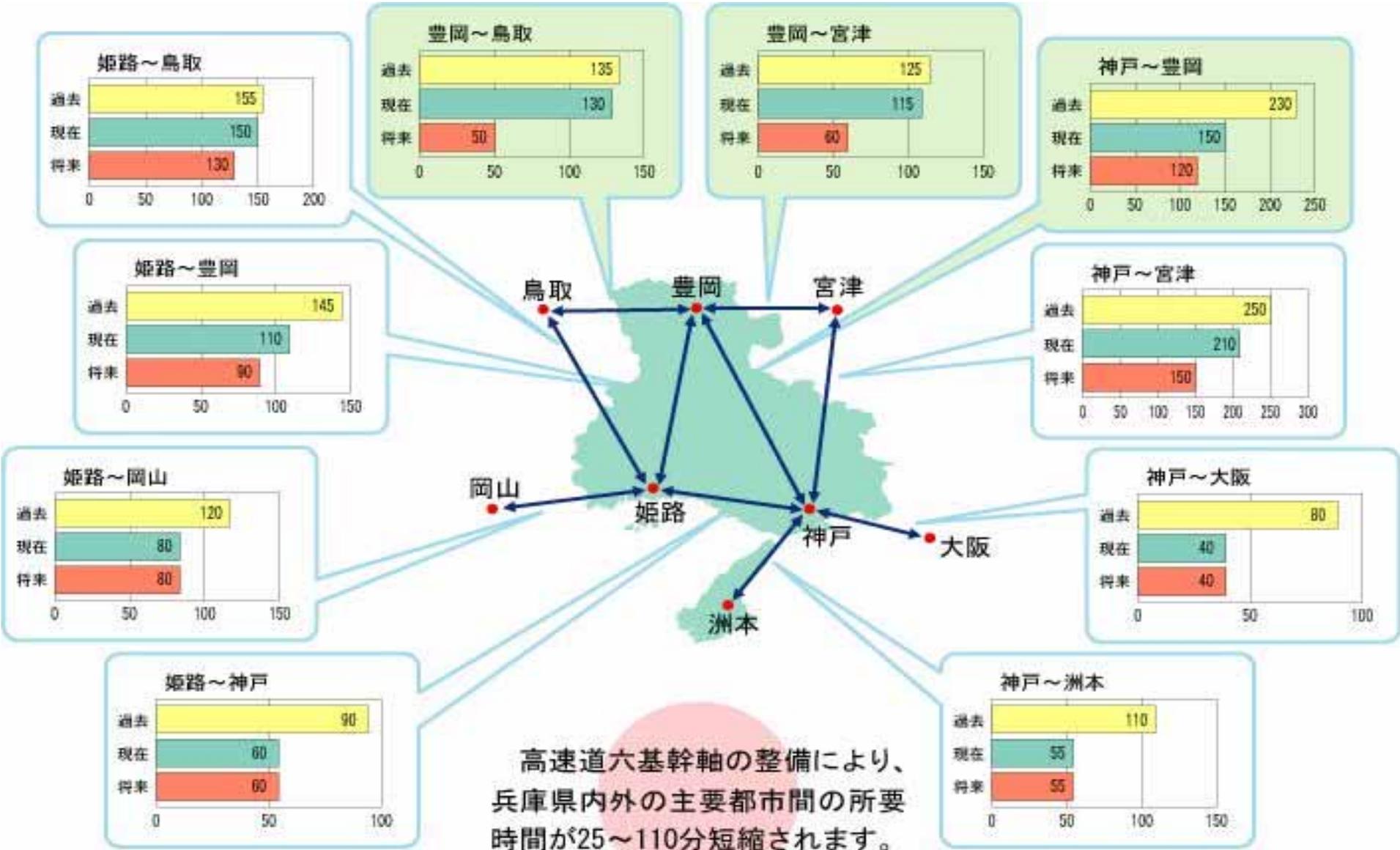
高速道六基幹軸とは、関西から瀬戸内・山陰地方に至る東西3本（瀬戸内臨海軸・東西内陸軸・日本海沿岸軸）及び太平洋から日本海に至る南北3本（日本海太平洋軸・播磨但馬軸・播磨因幡軸）の6本の基幹軸からなる高速道路ネットワークです。



高速道六基幹軸の整備効果

注 平成15年度末現在
北近畿豊岡自動車道(春日和田山道路)
鳥取豊岡宮津自動車道(香住道路)は未整備

主要都市間の時間短縮効果



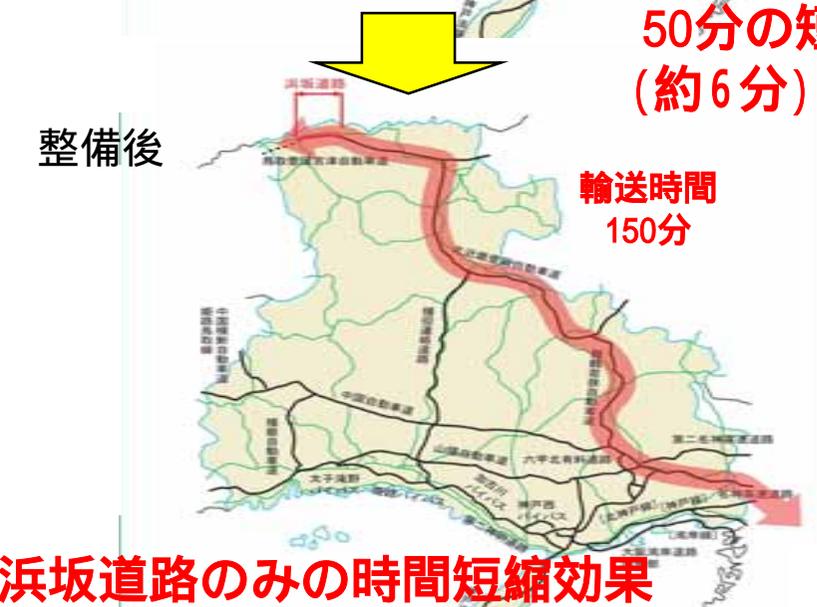
鳥取豊岡宮津自動車道の整備効果(1)

三次救急医療機関の圏域拡大

物資輸送時間短縮による市場拡大



新温泉～大阪 輸送時間



鳥取豊岡宮津自動車道の整備効果(2)

航空路 羽田、伊丹、名古屋
ソウル ヘネットワーク

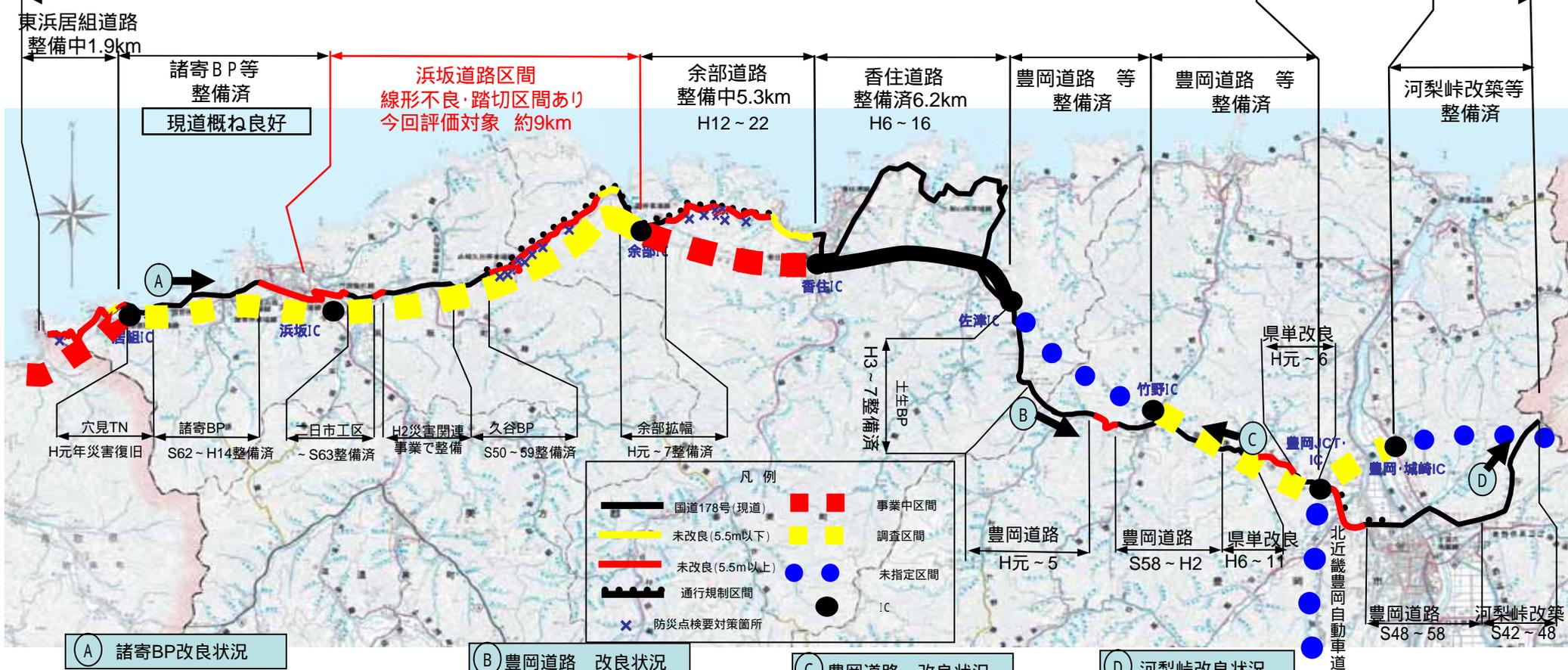
航路 中国(上海、青島、大連) 韓国(釜山)
ロシア等ヘネットワーク



観光地 鳥取砂丘(214万人) 城崎(91万人) 天橋立(266万人) 計571万人/年
沖縄県の観光客(564万人/年)、ソウルの外来観光客(615万人/年)に匹敵

鳥取豊岡宮津自動車道の整備方針

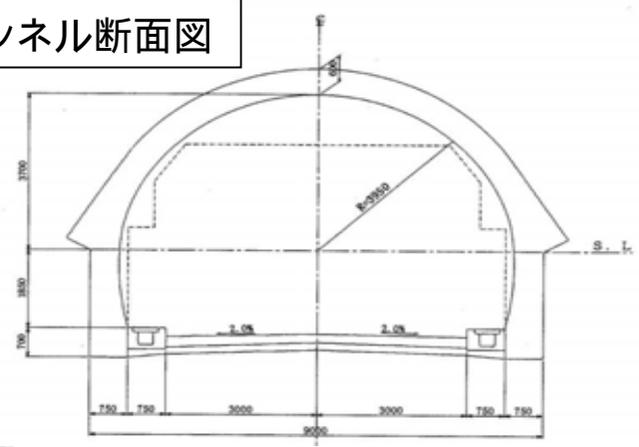
鳥取豊岡宮津自動車道 兵庫県内 L = 約46km



現況写真
(走行阻害要因)



桃観トンネル断面図



線形不良区間 R15 (規格R100)
(桃観トンネル浜坂側出口付近)



幅員狭小区間 W=5.5(6.0)m (桃観トンネル)
(トンネル内大型車離合困難)

現況写真
(交通阻害要因)

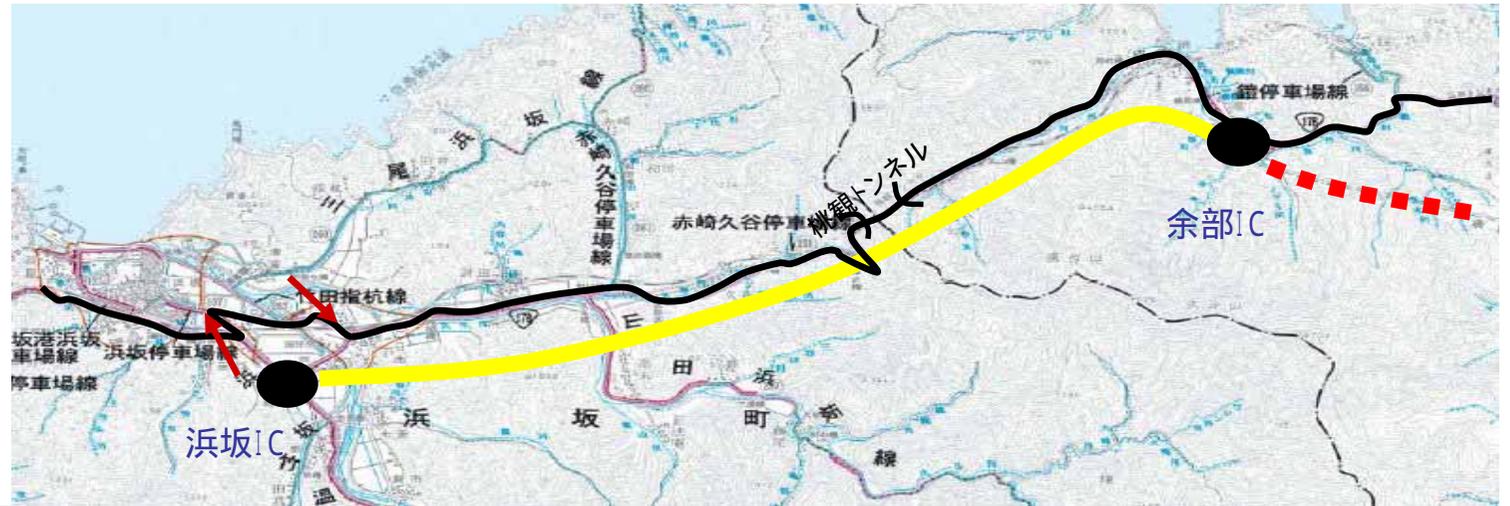


線形不良区間 R30 (規格R100)
(桃観トンネル香住側出口付近)



線形不良区間 R40 (規格R100)
(福富橋取付)

現況写真
(交通阻害要因)



線形不良、踏切区間
(二日市踏切)



線形不良区間 (Z状のクランクとなっている)
(浜坂三角交差点)

被災状況写真
(H2.9.19台風19号)



国道178号 法面崩壊による通行止め
(新温泉町久谷)



国道178号 冠水直後
(新温泉町二日市)

被災状況写真
H2.9.19台風19号による路面冠水状況

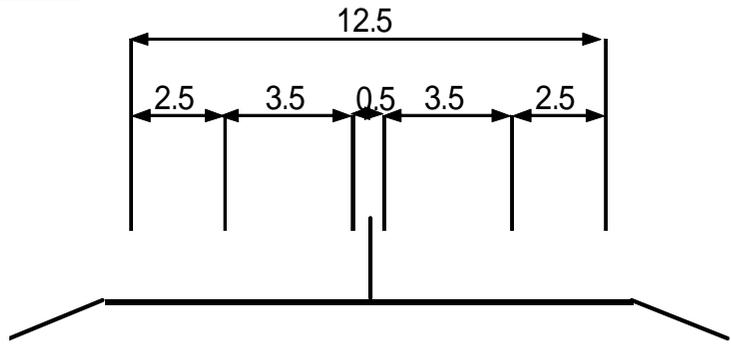


国道178号 路面冠水による通行止め(新温泉町久谷)

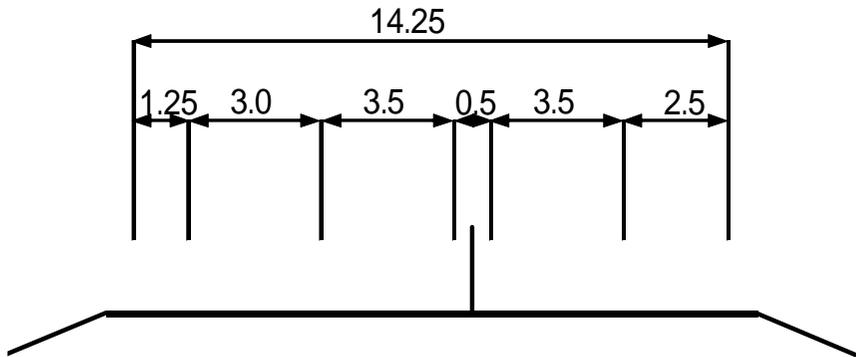
浜坂道路 標準断面図

土工部

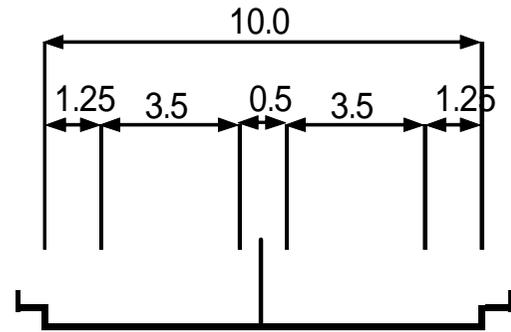
一般部



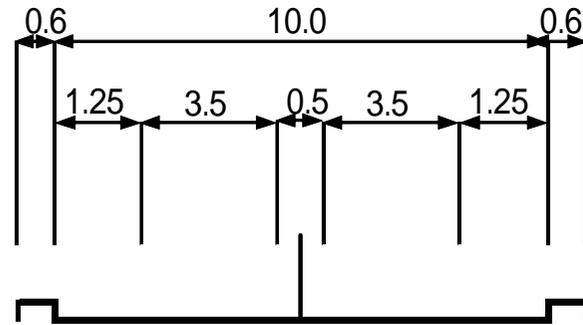
ゆずり車線部



トンネル部



橋梁部



新規事業
当初計画及び実施工程

工種	規模 (事業費)								
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
設計・調査	L=約9km (13.6億円)	■	■						
用地買収 ・物件補償	A=460,000㎡ N=2件 (4.9億円)		■	■					
トンネル工事	N=3箇所 L=3,740m (132.3億円)				■	■	■	■	■
橋梁工事	N=6橋 L=725m (36.3億円)				■	■	■	■	■
道路改良工事	L=約5km (57.9億円)				■	■	■	■	■

B / C 根拠説明資料例

便益(B)の項目

事業	B(便益)	算出方法
道路	走行時間短縮便益 目的地までにかかる時間 が短くなることによる便益	整備無しの走行時間費用 - 整備有りの走行時間費用 走行時間費用: (交通量 × 走行時間) × 時間価値原単位 × 365日
	走行経費減少便益 交通の流れがスムーズに なり燃費などが向上するこ とによる便益	整備無しの走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費: (交通量 × 距離) × 走行経費原単位 × 365日
	交通事故減少便益 交通事故が減少すること による便益	整備無しの事故損失額 - 整備有りの事故損失額 事故損失額: [交通量 × 距離 × 交差点以外の事故損失原単位 + 交通量 × 主要交差点数 × 交差点部事故損失原単位]

費用便益比(B / C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		代表的な効果	C(費用)			B / C
		便益額 (百万円)			総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
道路	(国)178号 鳥取豊岡宮津自 動車道 (仮称)浜坂道路	走行時間 短縮便益	34,160	時間短縮: 14分8分 現況交通: 4,400~8,800 台/日 計画交通: 7,300台/日	21,410	20,670	740	1.9
		走行経費 減少便益	5,570					
		交通事故 減少便益	630					
		計	40,360					